



南東側外観

福祉機能に加え、デザインやカリヨンの設置などキリスト教の温もりが地域にも伝わるようにした

社会福祉法人 るうてるホーム 特別養護老人ホーム るうてるホーム | 設計・監理：双星設計

ルーテル教会を母体とする社会福祉法人の経営する特養、軽費老人ホーム及び別敷地にあるデイサービスセンターの総合移転新築である。定員50人の特養、軽費はケアハウスとして定員50人、デイサービス35人、さらに多機能型障害者福祉サービス事業所を20人、ショートステイ20人を新たに整備した。高齢者総合福祉施設ではあるが敷地はゆとりがなく、機能を損なわずに一棟で建てることとした。入居はすべて10人単位のユニットタイプとし、特養、ショートステイ、ケアハウスが動線上交わらないようゾーニングを工夫した。また上下階も個室面積基準が異なるが基準プランに納まるよう計画している。各施設の入居者のグルーピングやプライバシーに配慮した構成、配置、動線としつつ、職員の合理的な動線が得られるよう計画した。コンパクトな平面計画ながら中央に中庭を設け、光が差し込み、自然換気が十分に得られるようにした。一見複雑なプランではあるが、外周の風景や中庭の光景の見え方により自分の位置をわかりやすくしている。敷地は不整形ではあるが道路に面する部分が長く、それを逆に利用して入居

やデイなど各々の玄関を、機能を考慮した位置に独立して設けるようにした。デザイン的には、アガペー(無償の愛)を感じ取れる施設とすべく、優しい色彩計画でまとめ、仕上げ材料もくつろぎが得られる質感を提供した。特色ある部分としては、3階に多目的室がある。ここは普段は毎日、入居者が礼拝に使用しており会議室、集会室にも使用できる多目的な室としている。さらに塔屋部にはカリヨンも設け、キリスト教の温もりが地域にも伝わるようにしている。

所在地	大阪府四條畷市岡山 5-19-20	施工	フジタ
建築主	社会福祉法人 るうてるホーム	構造・規模	RC造 地上4階
用途	特別養護老人ホーム(ショートステイ、ケアハウス、デイサービス、多機能型障害者福祉サービス事業所、診療所、訪問介護事業所、訪問看護事業所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター)	敷地面積	4,015.66㎡
定員	175人(特養50人、ケアハウス50人、デイサービス35人、生活介護10人、就労継続支援B型10人、ショートステイ20人)	延床面積	6,903.82㎡
設計担当	山本尚弘	竣工	2013年9月
		撮影	仲和



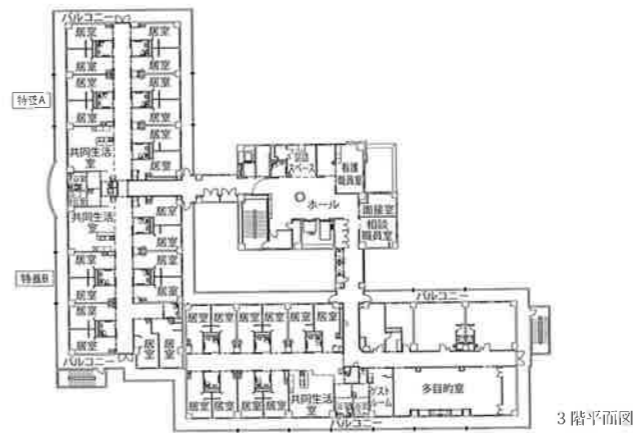
東側外観



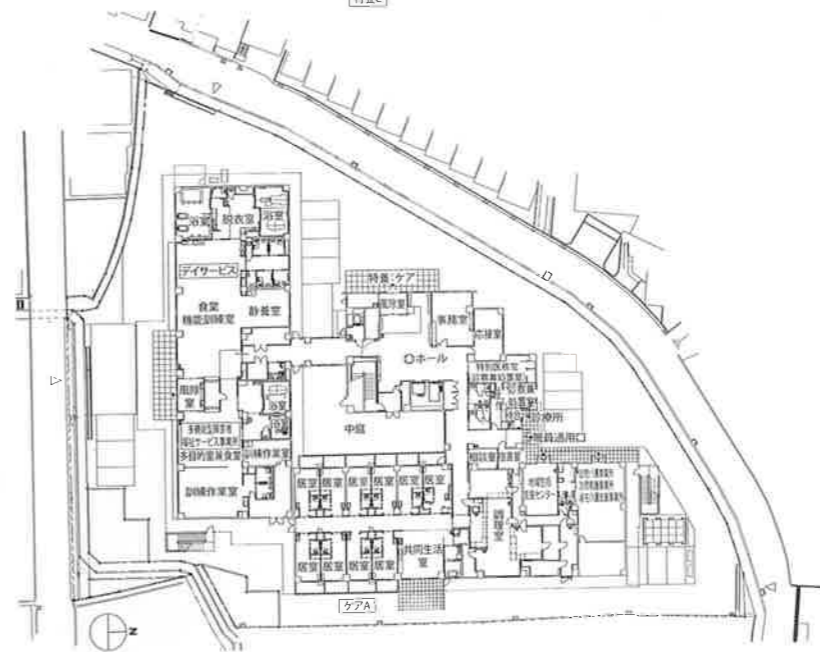
西側外観・夜景



特養共同生活室



3階平面図



配図・1階平面図



上 | 通所介護一般型 下 | 通所介護一般型浴室

column

滝田浩之

1966年にキリスト教主義に立つ施設の理念である「ホーム(家)」を実現してくださった双星設計は、このたびフジタとともに、再び理念にふさわしい「ホーム」を建てていただきました。ここが真の「ホーム」となるようういて参ります。(社会福祉法人るうてるホーム理事長)